

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ともにつくる居場所づくり「農・福・観」連携事業
事業主体 (連絡先)	合同会社つくえラボ 長野県諏訪郡富士見町落合5949
事業区分	1 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,295,353 円 (うち支援金: 796,000 円)

### 事業内容

富士見町落合机区を拠点に、年齢・性別・障害の有無、居住地にかかわらず、誰もが自分の役割を持ち活躍できる場所、誰とでもともに楽しみながら体験を共有できる「居場所づくり」に取り組んでいる。

農業・郷土料理などを通して都市農村・多世代間交流を図り、地域住民の出番と役割・やりがいの創出に繋げるWS・イベントを開催。また、下水汚泥由来肥料と有機資源を活用した「じゅんかん育ち」の栽培・販売を地域住民とともに実施。

【A】 稲作部・畑作部ワークショップ・イベント R3年4月～R4年3月  
実施回数 15回 講師 22名 参加者 85名

【B】 じゅんかん育ちトライアル R3年4月～R4年3月

1. 勉強会 実施回数6回 講師7名 参加者40名
2. 販売トライアル 実施回数11回 (道の駅・富士見マルシェ)

### 事業効果

- ① 今年度もイベントやWS開催が難しい状況ではあったが、新たな都市農村交流の形として田んぼオーナー制度の導入や、支援金を活用したオンラインでの勉強会・交流会を開催することにより、地域内外の多くの参加者との繋がりを持つことができた。
- ② コロナの影響で集まりが難しい期間を利用し、交流の拠点・地域の窓口となる古民家の整備を実施。ハード面においても「誰もが安心安全に利用できる居場所」としてより良い環境づくりに努めることができた。
- ③ 「じゅんかん育ち」の栽培・販売を通して、農業に携わる地域住民だけではなく、中学生や高齢者サロンなど多くの方たちとの新たな関りが生まれた。また、「じゅんかん育ち」として取りまとめた多くの参加者の余剰野菜を販売。その際に、古新聞を再利用した袋を使用し脱プラへの取組みを行い、ゼロカーボンに向けたプラスワンアクションに繋がった。

### 今後の取り組み

今後も引き続き、地域住民誰もが出番と役割を持って生き生きと活躍できる居場所づくりと魅力ある地域づくりを地域協働で推進していく。

また、地域資源(ヒト・モノ・コト)を有効活用しながら、環境と地域経済が両立する富士見町ならではの資源循環モデルの構築と、その取り組み自体を「地域のみんなで創り出す富士見町産じゅんかん育ち」としてブランド化を目指す。次年度においては、参加者全員がゼロカーボンに向けた取組みを推進しているという意識づけを目的とした活動を行ってきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【田んぼオーナー稲刈りの様子】

### 【目標・ねらい】

- ① 地域住民の出番と役割、やりがいの創出
- ② 都市農村・多世代間交流
- ③ じゅんかん育ちの栽培・販売を通して、環境と地域経済が両立する富士見町ならではの資源循環モデルの構築

### ※自己評価【 A 】

【理由】・コロナ禍でもあっても出来る範囲、方法でWSを開催し、地域住民の活躍の場や多様な人々との交流の場を創出できた。また、集まりができない時にハード面の整備に事業変更するなど、支援金を有効活用ができた。  
・じゅんかん育ちの普及が地域循環やゼロカーボンに向けた取組にも繋がっている。